



特集

第30回国民文化祭・ かがしま2015

がやってきます!.

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



国内最大の文化の祭典、国民文化祭が鹿児島県で開催されます。
古より続く伝統的な文化だけでなく、時代とともに新しく興る文化もあります。
進化を続ける文化の祭典から目が離せません。

国内最大の

文化の祭典 国民 文化祭



国民文化祭は、日本全国の各地でさまざまな文化・芸術に親しんでいる個人や団体が日頃の成果や実力を披露し、またそれを鑑賞し楽しむ場となるものです。

全国から多くの「文化」や「人」が一つの地域に集まって交流することにより、文化活動に参加したいという気持ちを高め、新しい芸術文化の創造を促すとともに、地域文化の振興に貢献することを狙いとした「国内最大の文化の祭典」です。

昭和61年の「第1回国民文化祭 東京」から始まり、47都道府県持ち回りで毎年開催されており、平成27年の鹿児島県開催が第30回となります。

県内各地に伝わるさまざまな伝統芸能は、後継者不足などの問題から継続することが難しくなっているものもあります。地域に根付いた伝統芸能でも別の地域に住む人たちにとっては、実は「知らない」「そんな祭りがあるんだ!」ということがあります。国民文化祭を通じて地域やジャンルを超えた幅広い交

流を行うことで、文化の良さを見直すきっかけとなり、めったに見られない公演や展示を身近に感じる機会が得られます。

一言で文化といっても、伝統芸能や音楽、美術、文芸、演劇など、すぐに思い浮かぶ文化だけではなくありません。ユネスコの無形文化遺産に登録された和食をはじめとする食文化、火山県ならではの温泉文化など人々の生活に根付いた文化、幅広いジャンルにひろがります。

鹿児島県では、開催期間中県内43市町村全ての地域で合わせて100を超えるイベントを予定しており、おもてなしの心にあふれた鹿児島ならではの祭典を開催します。

本県の事業は、悠久の昔から黒潮に乗って南方との交流により育まれた個性的で多様な文化芸術をはじめ、豊富な食材や食文化、温泉、豊かな自然環境など本県の持つ魅力ある地域資源を生かして開催されます。

国民文化祭を開催すると...

県内全ての市町村で開催される各種文化事業。関わる多くの方が集い、交流することだけでなく、他にも多くのことが期待されます。

ここ数年の国民文化祭開催県の状況を見ると、1万人以上の方が出演者・関係者として、また100万人以上の方が観客として参加しています。国民文化祭の開催期間中は、多くの方が鹿児島を訪れることが予想されます。

～山梨県での開催の様子～



平成25年は山梨県で開催されました。山梨県企画県民部国民文化祭課の樋川課長によると、「山梨県では、四季折々の自然や文化に触れていただくため、全国で初めて1月から11月まで通年で開催しました。303日間の開催期間中に、世界文化遺産に登録された富士山に関するイベントや、普段あまり文化に関わりがない人も気軽に参加できる4つの通期事業などを開催したところ、280万人を超える方々にご来場いただきました。」とのこと。

